

シリーズ「きょうだいの思い」③

私が小学校2年生の時、気になる子供が1年生にいた。

学校の中でお母さんがずっと付き添いをしていた。
いつ見ても一緒だった。
教室の窓からその母子の姿を見て、どうもシックリこなかった。

言葉ではうまく言い表しにくいのだが、その子供が母親の付き添いで学校生活を送っていることが、私の体に染み込んでこなかった。

「弟も、お母さんと一緒に学校に通うことになるのかなあ」とボンヤリ思っていた。

しかし、この小学校生活も2年生の1学期までだった。

2年生の夏休みに高槻へ引っ越して来て、現在に至る。
当時の弟は療育園と一般の私立幼稚園を一日交代で母子通園していた。

※ある当事者のお姉様に、前穂通信の為に書き下ろして頂きました。

前穂通信

まええほつうしん

発行日	2011年3月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600

陶芸プログラムからのお知らせ

新設いたしました陶芸室のご利用も定着して参りました。回を重ねることで創作への意識が深まったように感じております。また、電動ろくろの導入などもあり、プログラムの質と幅に広がりが出て参りました。
つきましては、陶芸プログラムの参加料を改定させて頂きたいです。

3月1日より 300円 → 500円 1回当り

ご承諾のほど、宜しくお願い致します。

新しいスタッフのご紹介

スタッフ紹介